

第30回全日本小学生女子ソフトボール大会北海道予選会開催要項

(第9回 北海道 小学生女子ソフトボール大会)

1. 主催 北海道ソフトボール協会
2. 主管 札幌ソフトボール協会
3. 会期 平成28年6月12日(日)(予備日:19日(日))
4. 会場 天使大学中沼グラウンド (札幌市東区中沼町14-9)
5. 参加チーム数 参加チーム数の制限は設けない。
但し、6. 参加資格、7. 出場資格の条件を満たしたチームに限る。
6. 参加資格 (1)平成28年度北海道ソフトボール協会に各地区を通して加盟登録した小学生チームに限る。
(2)全国大会および東日本小学生大会に参加希望するチームは大会申込書に記載すること。
7. 出場資格 (1)本大会に出場するチームは、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチームに限る。
(2)チーム編成は、最終予選終了時までには北海道ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(3)チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。

※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※監督・コーチの中に次の①～③の資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チームの中に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
① 公認コーチ・上級コーチ ②公認スポーツ指導員・上級指導員
③公認準指導員
※有資格者は、登録証を携帯し、受付時、監督会議等に大会競技委員長に提示を求められた場合には必ず掲示しなければならない。有資格者を確認できない場合は、没収試合になることがある。
8. 申込方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け5月21日(土)までに到着するよう郵送で下記あてに申し込むこと。
(1)〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1
北海道立総合体育センター内
北海道ソフトボール協会 宛:参加申込書のコピー<1通>
(2)〒003-0001 札幌市白石区東札幌1条4丁目5-1-706
札幌ソフトボール協会 石原 ヒサ子 宛
(参加申込書原本、プログラム掲載用選手名簿)
TEL・FAX 011-833-1977
9. 参加料 1チーム 25,000円
上記申込期限までに、10. 保険料とともに下記あてに振り込むこと
北洋銀行 清田区役所前支店 店番号:497
口座番号 普通 3562441 Tel 011-882-4598
札幌ソフトボール協会 会計 小笠原美登里(ガガワ印刷)
10. 保険料 参加申込書に記載の人数×60円
11. 競技規則 2016年度オフィシャルソフトボールルールによる。
12. 試合球 (公財)日本ソフトボール協会検定ゴム2号球(ナガセケンコー社製)とし、毎試合毎、各チーム1個の持ち寄りとする。
13. 試合方法 トーナメント方式による。

(1)90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は次のイニングからタイブレーカーにより試合を続行する。但し、タイブレーカーは2イニングまでとし、タイブレーカーで2イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する

(2)決勝については時間制限を設けず、オフィシャルソフトボールルールとする。

(3)サスペンデッドゲームを採用する。

14. 表彰

(1)優勝チームに、表彰状・優勝旗を授与する。

(2)準優勝チームと3位チームに、表彰状を授与する。

(3)優勝旗は持ち回りとする。

15. 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。

16. 組合せ抽選 試合に組合せは、5月27日(金)北海道ソフトボール協会において、主催者立ち会いのもとに代理抽選によって決定する。

17. 監督会議 6月12日(日)8時00分より天使大学中沼グラウンドにおいて開催する。

18. 審判・記録会議 6月12日(日)監督会議終了後天使大学中沼グラウンドにおいて開催する。

19. 開会式 6月12日(日)9時00分より天使大学中沼グラウンドにおいて開催する。 20. 傷

害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行うとともに、北

海道ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(保険料については参加者負担)の範囲内で保証を行う。参加者は全員、健康保険証を持参すること。

<補償内容:死亡、後遺障害 最高 450 万円 入院日額 4000 円(事故日から180 日以内) 通院日額 2500 円(事故日から180 日以内の通院日限度)>

(保険料については、別途徴収する)

21. その他

(1)出場チームは必ず監督等によって引率され、当該チームを掌握すること。

(2)北海道大会で棄権及び不正選手出場チームの取扱いについては以下の通りとする。

①棄権及び不正選手出場チームに対する処置

:当該年度及び次年度の公式試合出場停止

尚、事故等による理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。

又、この決定については、道ソ協派遣理事及び大会競技委員長で行う。

(3)チームの宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。

(4)ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。

(5)その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。

(6)試合中における競技場内へのファールボールの措置、ならびに、試合終了後の簡単なグラウンド整備について、選手の皆さんにお願いする。

(7)開会式は、登録された監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは、原則として棄権とみなす。

全国大会

男子 8月5日(金)~8日(火)栃木県大田原市

女子 8月6日(土)~9日(月) 岡山県岡山市、久米南町

競技上の注意

(大会運営に関する注意事項)

◎ 競技規則

競技規則は、本年度オフィシャルソフトボールルールによる。
本大会の試合方法は、トーナメント戦とする。

◎ 試合

1. 選手の集合時間

- (1) 試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時、当該球場に集合すること。
- (2) 試合開始時刻になっても当該球場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。

2. 打順表の記入と提出

- (1) 試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時に、あらかじめ配布された打順表(5枚1組)に必要事項を記入し、本部に提出すること。
- (2) 相手チームの打順表は、審判員・記録員が照合確認の上、審判員から受け取ること。
- (3) 打順表は、最初の試合については、監督・主将会議で配布したものを使用し、その後の試合分については、勝利チームが当該球場記録席まで取りに行く。

3. 攻守順の決定

- (1) 打順表提出のとき、審判員立合いのもとに「コイントス」によって決定する
「コイン」の表・裏の選択は、先着(打順表持参)チームに優先権を与える。
- (2) フィールドイング終了後に両チームの監督に先発メンバーの最終確認をする。

4. 競技者席

- (1) 組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
- (2) 競技場内に入る人数は、監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手25名以内とする。
スコアラーは公式記録員有資格者とする。

5. フィールドイング

ベンチに入ることを許されたユニフォーム着用した監督、コーチ、プレイヤーで行うことし、後攻チームから5分間とする。(放送または審判員の指示に従うこと。) なお、運営上時間を短縮することもある。

6. 競技用具の確認

- (1) バットは、試合開始前にバットゲージで確認し、規格以外の物、及び危険と思われるバットは、大会終了まで球場審判席で保管する。(チームが帰るとき、受け取ること。)
- (2) ヘルメットは試合開始前に安全性を確認する。

7. 試合の開始

- (1) 「集合準備」の合図で自己のベンチ前に一列横隊に並ぶ。
- (2) 「集合」の合図と同時に駆け足でホームプレートを挟んで整列する。

競技上の注意

(大会運営に関する注意事項)

◎ 競技規則

競技規則は、本年度オフィシャルソフトボールルールによる。
本大会の試合方法は、トーナメント戦とする。

◎ 試合

1. 選手の集合時間

- (1) 試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時、当該球場に集合すること。
- (2) 試合開始時刻になっても当該球場にこないチームは、原則として棄権とみなす。

2. 打順表の記入と提出

- (1) 試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時に、あらかじめ配布された打順表(5枚1組)に必要な事項を記入し、本部に提出すること。
- (2) 相手チームの打順表は、審判員・記録員が照合確認の上、審判員から受け取ること。
- (3) 打順表は、最初の試合については、監督・主将会議で配布したものを使用し、その後の試合分については、勝利チームが当該球場記録席まで取りに行く。

3. 攻守順の決定

- (1) 打順表提出のとき、審判員立合いのもとに「コイントス」によって決定する「コイン」の表・裏の選択は、先着(打順表持参)チームに優先権を与える。
- (2) フィールディング終了後に両チームの監督に先発メンバーの最終確認をする。

4. 競技者席

- (1) 組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
- (2) 競技場内に入る人数は、監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手25名以内とする。) スコアラーは公式記録員有資格者とする。

5. フィールディング

ベンチに入ることを許されたユニフォーム着用した監督、コーチ、プレイヤーで行うことし、後攻チームから5分間とする。(放送または審判員の指示に従うこと。) なお、運営上時間を短縮することもある。

6. 競技用具の確認

- (1) バットは、試合開始前にバットゲージで確認し、規格以外の物、及び危険と思われるバットは、大会終了まで球場審判席で保管する。(チームが帰るとき、受け取ること。)
- (2) ヘルメットは試合開始前に安全性を確認する。

7. 試合の開始

- (1) 「集合準備」の合図で自己のベンチ前に一列横隊に並ぶ。
- (2) 「集合」の合図と同時に駆け足でホームプレートを挟んで整列する。

(3)小雨の場合でも日程の都合上、競技場が使用可能な場合は試合を開始する。

8. 攻守の交代及び選手の交代

(1)すべて駆け足で、敏速に交代すること。

(2)選手の交代は、監督が球審に速やかにその旨を申し出ること。

9. 攻守交代時のボール

(1)特に指示のない場合は、ピッチャーズプレートの近くに置くこと。

(2)試合終了時は、審判に渡すこと。

10. 抗議は、監督だけである。

11. 本大会は、一時停止試合(サスペンデッドゲーム)を採用する。

◎ 試合の変更

荒天時の連絡

(1)試合不可能の場合は、大会実施本部から各チームに連絡するので、必ず大会会場に集合すること。

(2)当日試合を行わない場合と、天候・グラウンドの回復状況により、試合開始時刻を変更する場合がありますので、大会実施本部からの連絡に注意すること。

雨天の連絡先 石原競技委員長 090-6873-2081

◎ その他

- ・試合開始前(球場入り後)の練習は、ファウル地域で行う。この場合はキャッチボール及び投球練習のみとする。
- ・監督会議で決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させること。
- ・監督会議に出席しないチームは原則として棄権とみなす。
- ・開会式は正規の服装とし、全員必ず出席すること。出席しないチームは原則として棄権とみなす。

第30回全日本小学生女子ソフトボール大会 北海道予選会申込書

名簿は黒インク、ペン書きで楷書でお書き下さい

所属 地区名						所在地
ふりがな						
チーム名						
代表者名						連絡責任者 〒 TEL FAX
引率責任者名						
監督名	30		スコアラー名			
コーチ名	31		※スコアラーは公式記録員有資格者であること			
コーチ名	32		通訳名			

※下記の指導者資格のいずれかを有する者1名の氏名と資格名、登録番号を記載すること。2名いる場合は、2名記入すること。

指導者資格：公認コーチ・上級コーチ、公認スポーツ指導員・上級指導員、公認準指導員

氏名	資格名	登録番号	氏名	資格名	登録番号

「選手名簿」

※UN=ユニフォームナンバー

NO	UN	位置	氏名 (ふりがな)	学年	学校
1			()		
2			()		
3			()		
4			()		
5			()		
6			()		
7			()		
8			()		
9			()		
10			()		
11			()		
12			()		
13			()		
14			()		
15			()		
16			()		
17			()		
18			()		
19			()		
20			()		
21			()		
22			()		
23			()		
24			()		
25			()		

上記の者は身体・人物ともに適当と認め、参加申し込みをいたします。

平成 年 月 日

北海道ソフトボール協会

会長 木本 由孝 殿

所属団体長(チーム代表者)

上記チームは 地区 代表として出場権を得ましたので証明します。

平成 年 月 日

北海道ソフトボール協会長 殿

協会長

印

第30回 全日本小学生女子ソフトボール大会 北海道予選会 参加申込書
【大会プログラム掲載用】

地区名			
フリガナ			
チーム名			
代表者名			
監督名	30		スコアラー名
コーチ名	31		通訳名
コーチ名	32		

公認指導者が2名いる場合は、2名記入。

指導者氏名	資格名	登録番号	指導者氏名	資格名	登録番号

※UN=ユニフォームナンバー

No.	UN	位置	フリガナ 氏名	学年	No.	UN	位置	フリガナ 氏名	学年
1		投手			14				
2		捕手			15				
3		一塁手			16				
4		二塁手			17				
5		三塁手			18				
6		遊撃手			19				
7		左翼手			20				
8		中堅手			21				
9		右翼手			22				
10					23				
11					24				
12					25				
13									

チームの横顔

※下記の指導者資格のいずれかを有する者1名の氏名と資格名、登録番号を記載すること。2名いれば2名記入のこと。
指導者資格:公認コーチ・上級コーチ、公認スポーツ指導員・上級指導員・公認準指導員

※本参加申込書に記載された個人情報、大会プログラム作成の際に利用いたしますことを予めご承知おき下さい。